

NACISIS-CATにおける 中国語資料, 韓国・朝鮮語資料に 関する概況

国立情報学研究所
高橋 菜奈子
2011年1月8日
情報組織化研究グループ月例研究会

1

NACISIS-CATとは

- ▶ 1985年から運用
- ▶ 日本全体の学術資料の総合目録データベース
- ▶ オンライン共同分担目録方式
- ▶ 国内外の大学図書館等が所蔵する図書・雑誌の目録を収録

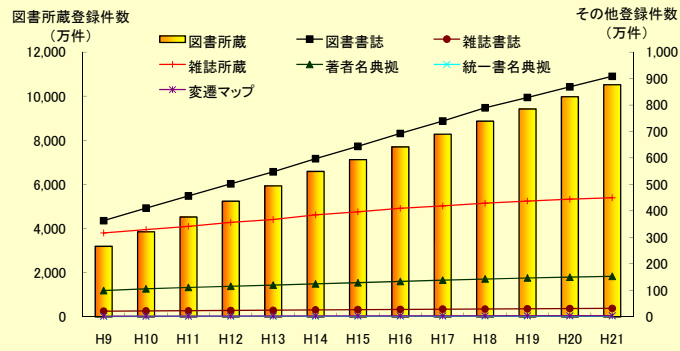
図書書誌	図書所蔵	雑誌書誌	雑誌所蔵	著者名典拠	参加機関数
9,082,671	105,214,111	317,811	4,499,232	1,529,041	1,234

2010年3月31日現在

2

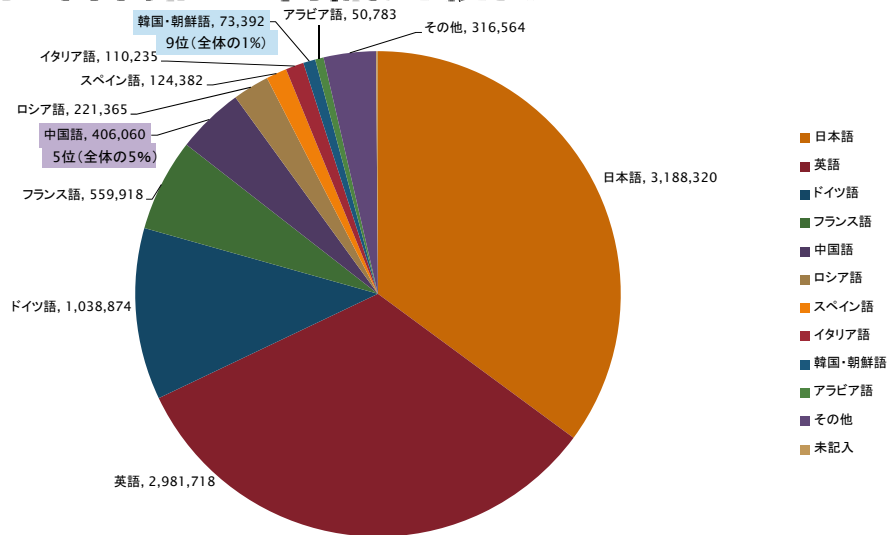
統計

NAGSIS-CATデータベース登録レコード数の推移



<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/archive/stats/cat/>

図書書誌の言語別統計



As of 2010/03/31

NACSYS-CATにおける目録法

▶ マニュアル類

- 目録規則は NCR87年版改訂3版とAACR2に準拠 標準
- 目録情報の基準(第4版) 独自
- コーディングマニュアル
- <http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/archive/catmanual.html>

▶ フォーマット

- CATP形式 独自
 - MARC21変換ツールはあり
- 典拠ファイルへのリンク
- 書誌階層(2階層)

```
<845689923> CRTDT:20020521 CRTFA:FA001007 RNMOT:20030422 RNMFA:FA002611
CND: SMD: YEAR:2002 CNTRY:ja TLL:jen TXTL:jen ORGL:ISSN: NBN: LCON: NDLON:
REPRO: GPON: OTHN:
VOL: ISSN: 4883670732 PRICE: 1900円(税別) XISSN:
TR: 図書館経営論 / 高山正也編 ; 加藤修子【ほか】共著 || トショカン ケイエIRON
ED: 改訂
PUB: 東京 : 樹村房 , 2002.4
PHYS: xii, 183p ; 21cm
NOTE: その他の著者: 高山正也, 岸田和明, 田澤直規, 村田文生
NOTE: 参考文献: s139
PTBL: 新・図書館学シリーズ || シン・トショカンガク シリーズ <BA35178556> 2// a
AL: 高山, 正也(1941-) || タカヤマ, マサヤ <DA00068492>
AL: 加藤, 修子(1955-) || カトウ, シュウコ <DA13545627>
AL: 岸田, 和明(1964-) || キシダ, カズアキ <DA08966772>
AL: 田澤, 直規(1955-) || タクホ, ナオキ <DA10579440>
AL: 村田, 文生 || ムラタ, フミオ <DA08750128>
CLS: NDC8 : 013
CLS: NDC9 : 013
CLS: NDLCC : UL511
BH: BSH : 図書館経営 || トショカンケイエ // L
```

5

NACSYS-CAT多言語対応

- ▶ システム面での改修
 - データベースのUCS化(2000)
 - 漢字統合インデックスの導入(2000)
- ▶ コーディングマニュアル・取扱いの整備
 - 中国語資料(1998)
 - 韓国・朝鮮語資料(2002)
 - アラビア文字資料(2003)
 - タイ文字資料、デーヴァナーガリー文字資料(2006)
 - <http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/archive/catmanual.html#3>
- ▶ 現在は多言語対応済という認識

6

中国語, 韓国・朝鮮語資料の何が課題だったのか？

- ▶ 適用する目録規則
 - 日本目録規則を採用
- ▶ 文字(簡体字・ハングル)の取り扱い
 - 転記の原則の問題
 - DBのUCS化で解決
- ▶ よみ・わかち
 - 配列・標目の問題ではなくアクセスポイントの問題
 - NACSIS-CAT独自ルールをコーディングマニュアルで規定
 - 中国語ではPinyinのためのシステムの拡張(TRVR, VTVR, PTBTRVR, AHDNGVR)
- ▶ 検索語の扱い
 - 漢字統合インデックスの採用
 - ハングルでの検索
- ▶ 参照MARCの投入
 - CHINAMARC
 - KORMARC

7

NACSIS-CAT著者名典拠の形式

- ▶ ID: 著者名典拠ID
- ▶ HDNG: 統一標目形
 - 名称(付記事項)||名称のヨ
ミ
- ▶ SF: 参照標目形
 - 参照標目の名称||名称のヨ
ミ
- ▶ SAF: 相互参照
 - 相互参照先の統一標目形
<参照先ID>

```
<DA03078988>
HDNG: 李, 退溪(150?-1570)이, 퇴
계
TYPE: p
DATE: 150-1570
SF: 李, 退溪|리, 타이케이
SF: 이, 테게
SF: Li, Tu-xi
SF: 李, 滉|이, 황
SF: 李, 滉|이, ファン
SF: 李, 滉|리, コウ
SF: Yi, Hwang
NOTE: SRC: 陶山全書/李退溪
[著](退溪学研究院, 1988)
```

「韓国・朝鮮語資料の取扱い」での 著者名典拠に関する規定

- ▶ (3) 典拠レコードの標目について
- ▶ 著者標目に関しては、原則として、最初に典拠レコードを作成する際に用いた資料に表示されている字体のまま記録する。ただし、著名な著者等については、最も良く知られた字体で記録する。
 - 著名な著者に関しては、著者名の表現が、漢字、ハングル、カタカナ、ラテン文字等の字体である可能性があるが、そのなかで最も良く知られた字体を採用する。
 - 韓国・朝鮮語の個人名について、日本人と同様、姓、名をカンマで区切る。
 - ハングルで標記された団体著者名には、ハングルヨミを付与する。
 - カタカナ表記の標目は、日本名と同じ扱いとし、ハングルヨミは付けない。

項目	ヨミの取扱い	備考
個人著者名(漢字)	ハングルヨミ分かち書き	採用されなかった表記はSFフィールドへ記入できる
個人著者名(ハングル)	なし	
団体著者名(漢字, ハングル)	ハングルヨミ分かち書き	

9

NACISIS-CATの標目の特徴

- ▶ 文字種を限定しない

	HDNGの形式
韓国・朝鮮人名	漢字表記 ハングル表記
日本人名	漢字表記 カナ表記
中国人名	漢字表記 カナ表記 ローマ字表記
西洋人名	ローマ字表記

- ▶ その著者の著作の主たる言語で決定される
 - 利用者の主たる言語ではない
 - 翻字によるゆれを防ぐことができる。
- ▶ 「最初に典拠レコードを作成する際に用いた資料に表示されている字体」に起因する課題あり

10